

附図I~1

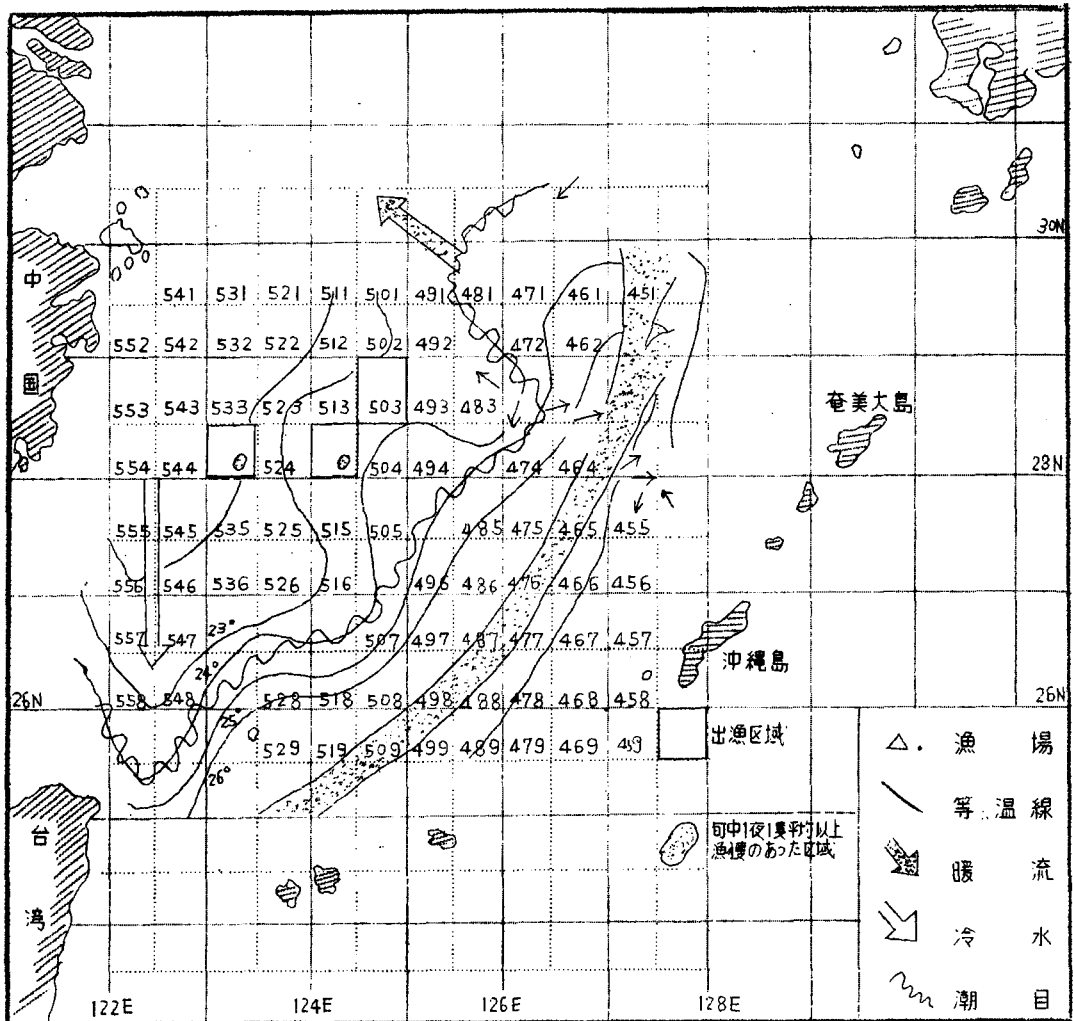
東海さば漁況及海況

昭和36年11月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海の水温は先旬より2°程低くなった。又黒潮流の勢いは全体にやや強くこのため黄海冷水塊の中心はソコトラ付近にとどまっている。水温は黄海、東海北部、朝鮮及び九州近海等が昨年よりも低く、東海中部及び南西諸島付近がやや暖かくなっている今旬はかなり冷え込む見込みで黄海や九州の沿岸水温は平年より低くなるでしょう。



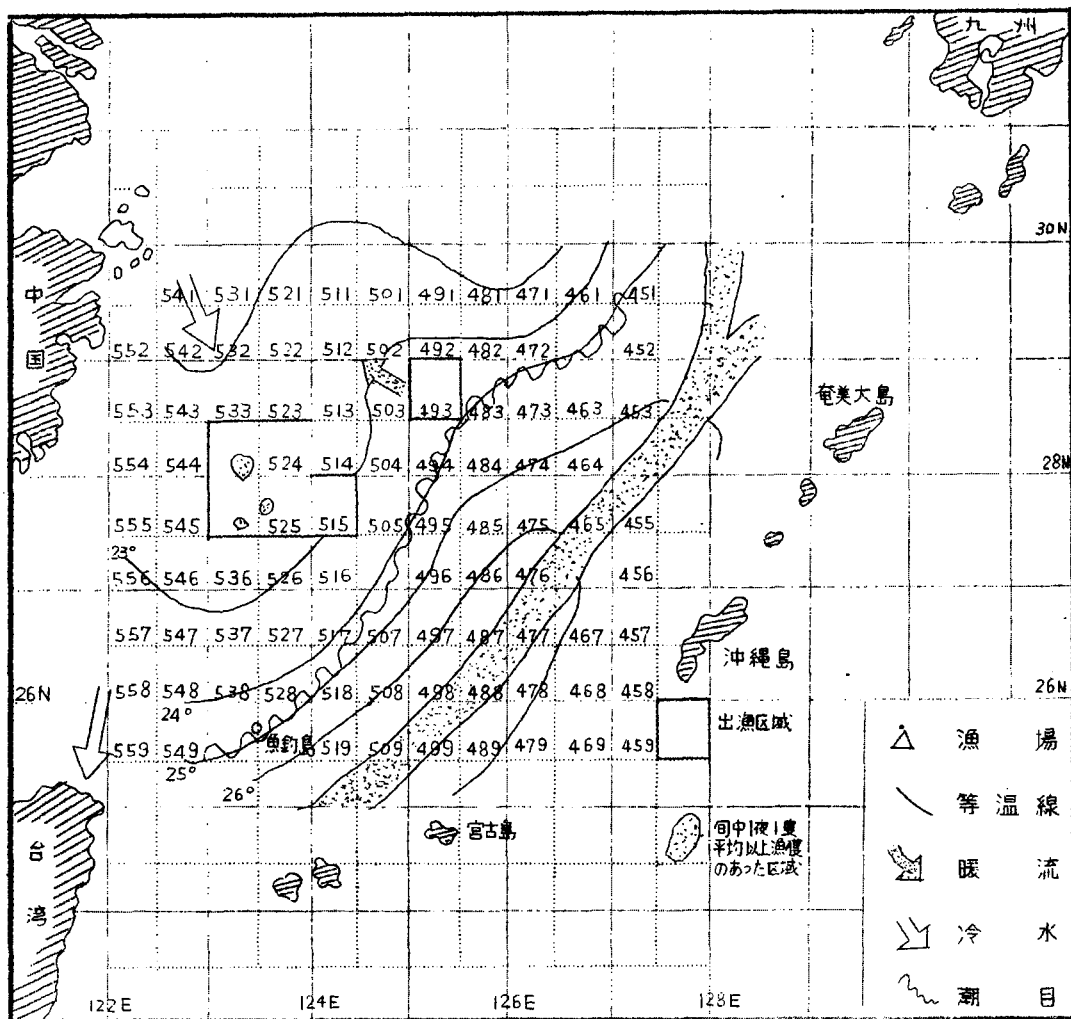
東海さば漁況及海況

昭和36年11月中旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海の水温は急に冷え込み東海北部と黄海方面は昨年よりも1°~2°低くなった。しかし南西諸島や薩南五島、対島近海等の黒潮流域は平年よりもやや暖かくなった。又黄海冷水の中軸はソコトラ付近にあります。勢力は弱く、潮境は32°N線の付近にとどまっている。引続いて黄海暖流が弱いので、清洲島の南部及び朝鮮の西部海域の水温は低く、又朝鮮南岸も沿岸水が発達しているので水温は低くなり、着しい潮目がある。今月は緩やかに冷え込む程度で平年よりもやや暖かい所が多い。しかし九州沿岸水温はほぼ平年並となるでしょう。



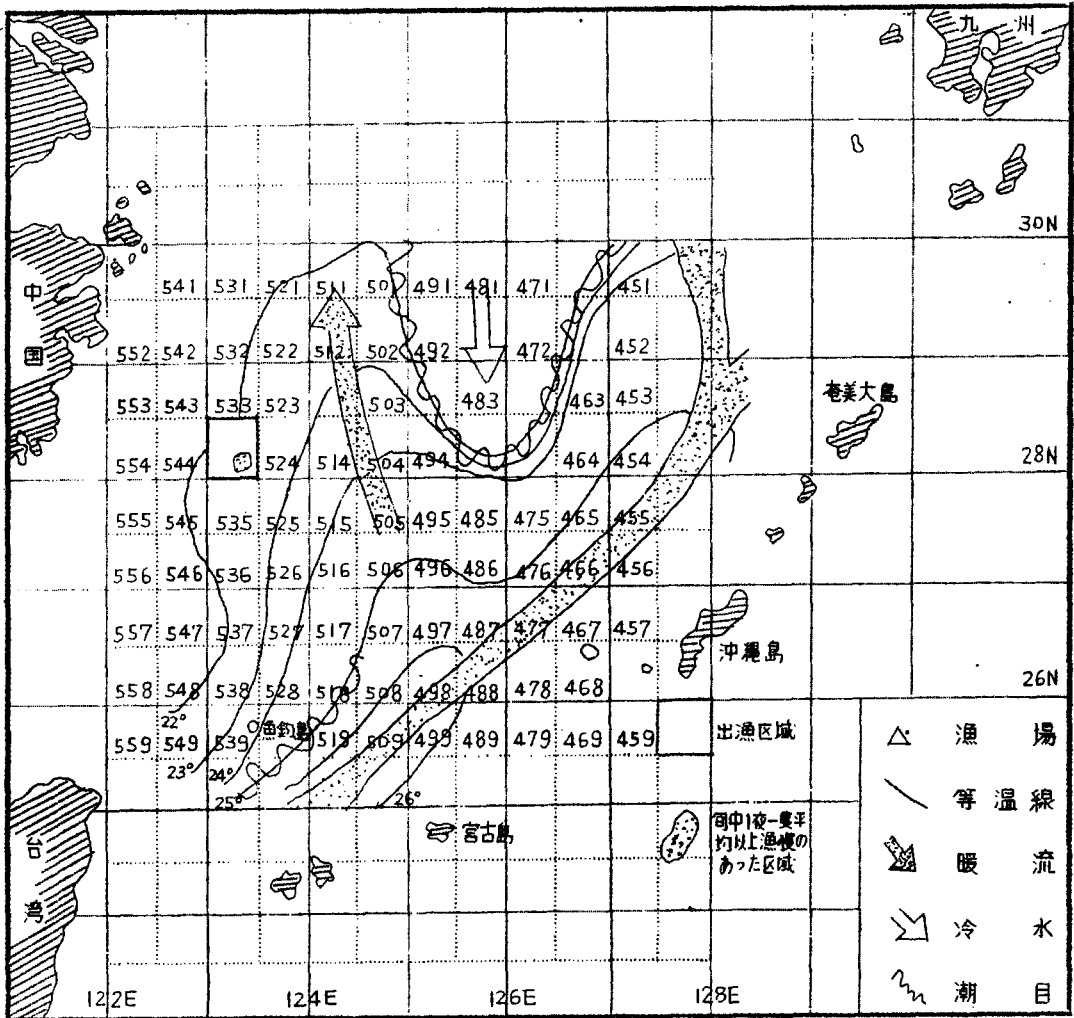
東海さば漁況及海況

昭和36年11月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海はゆるやかな冷え込みが続いたので、水温も先月より1.5°程低くなった。しかし全般には平年よりは高く、中でも大陸棚や黒潮の一部は1°~2°暖かい、しかし九州沿岸の水域や対馬近海等はやや低目である。黄海冷水の勢力は依然弱く、その中心軸は山東高角とソコトラを結んだ線の附近にあって、次第に大陸沿岸に近くなってきた。まだ当分の間目立った冷え込みはなく黒潮の勢力も強いので水温は全体に暖か目が続く見込み。



附圖1~4

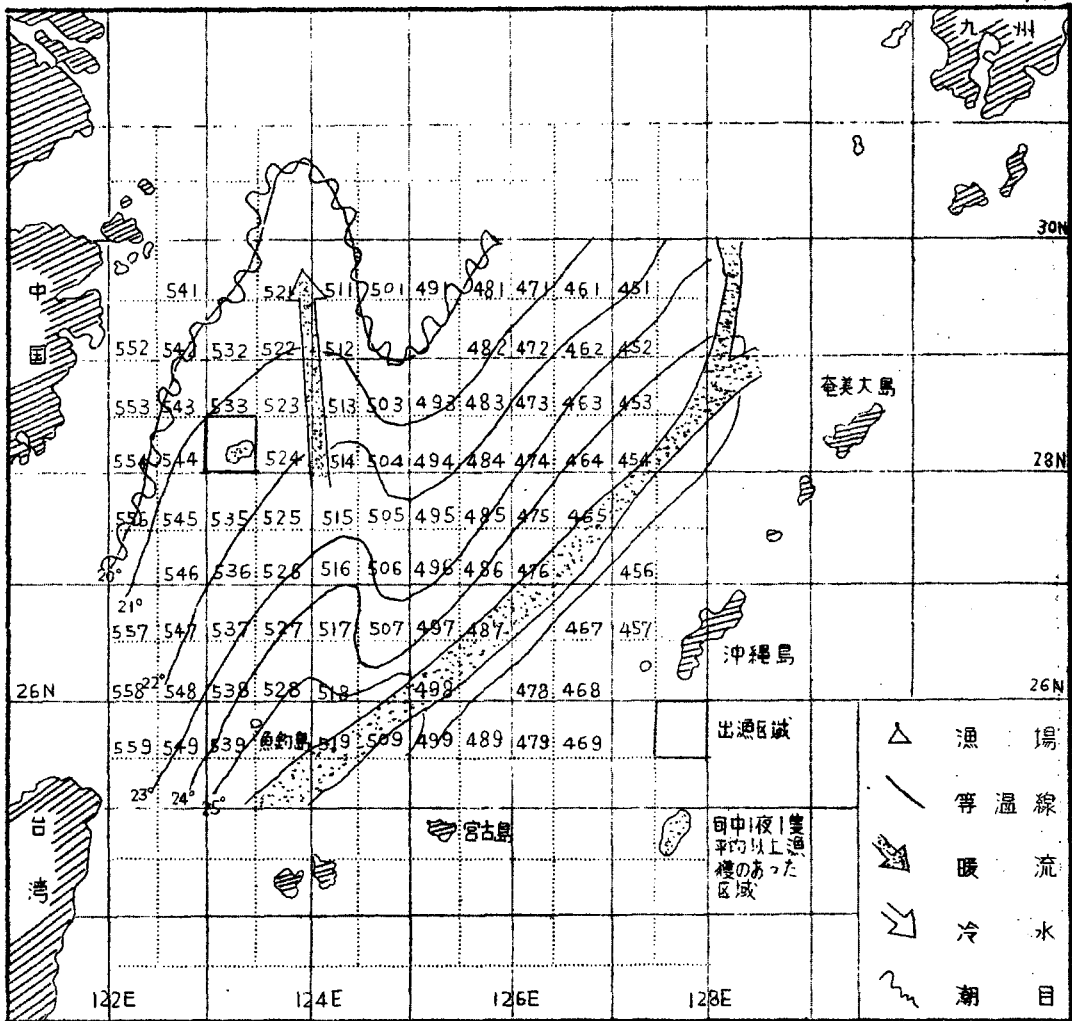
東海さば漁況及海況

昭和36年12月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海は例年より季節風が弱く、水温は全体に高い、黄海暖流の勢力は弱く一方朝鮮の沿岸水が発達しているの、済州島の周辺や対馬近海の北部は水温が低い、又黄海冷水塊は勢力が弱く、流れの中心も125°E線付近にあるので大陸沿岸水域は全体に暖かい、今後もまだ九州沿岸南西諸島付近はかなり暖かめが続き黄海の北部漁場では下旬頃に次第に冷えてきましょう。



附図I~5

東海さば漁況及海況

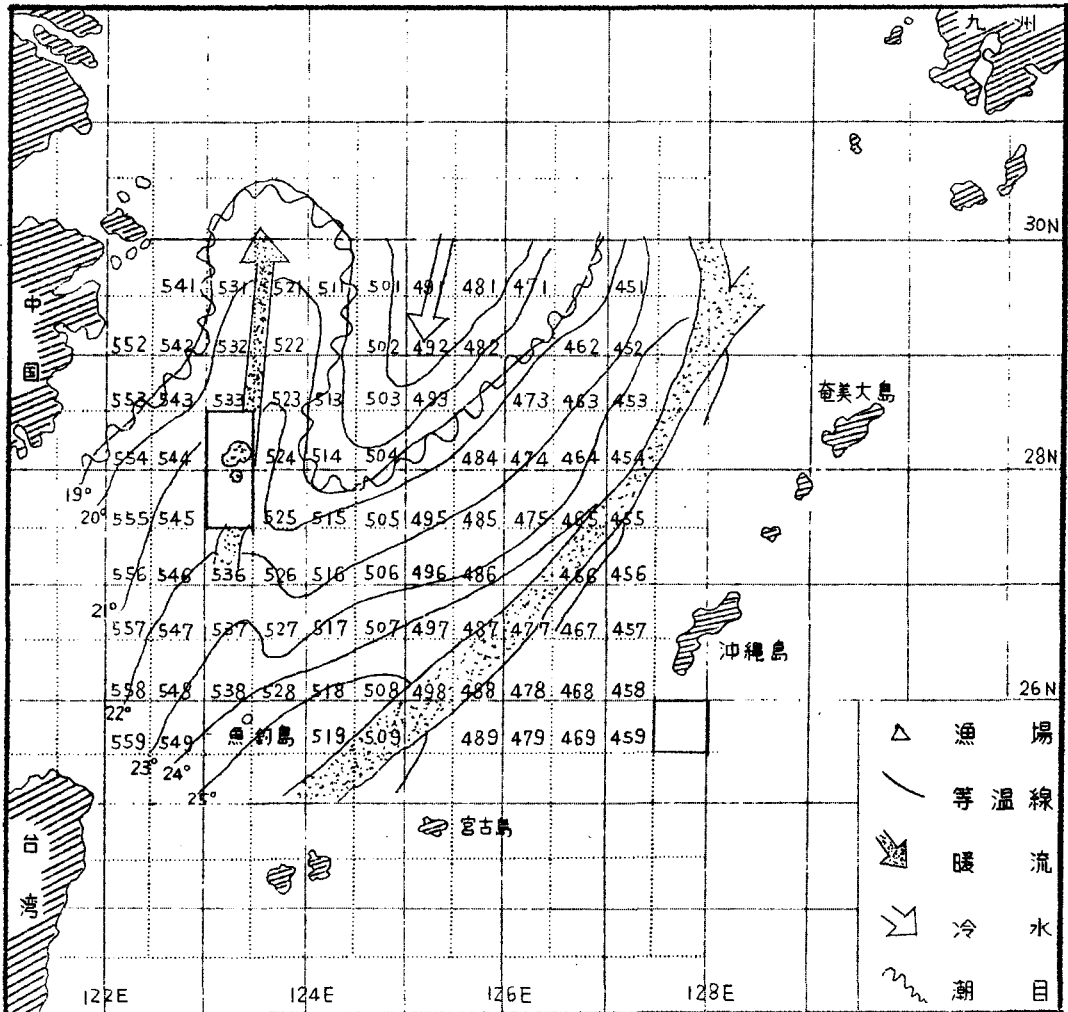
昭和36年12月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海の水温は全般に平年よりも暖かく、東海の中部、南西諸島、九州近海等は平年よりも1°~2°程高くなっています。又黄海方面では冷水の動が少なく、水系の配置もまた冬型になっていません。このため済州島北西の黄海南部一帯は水温、塩分が高くこのあたりは潮目の発生も少ないようです。

今後もしばらくこの状況が続く見込みで年末になると次第に季節風もつり冷水の動きがはげしくなるので、潮目は発達し漁場の海況も次第によくなりましょう。



東海さば漁況及海況

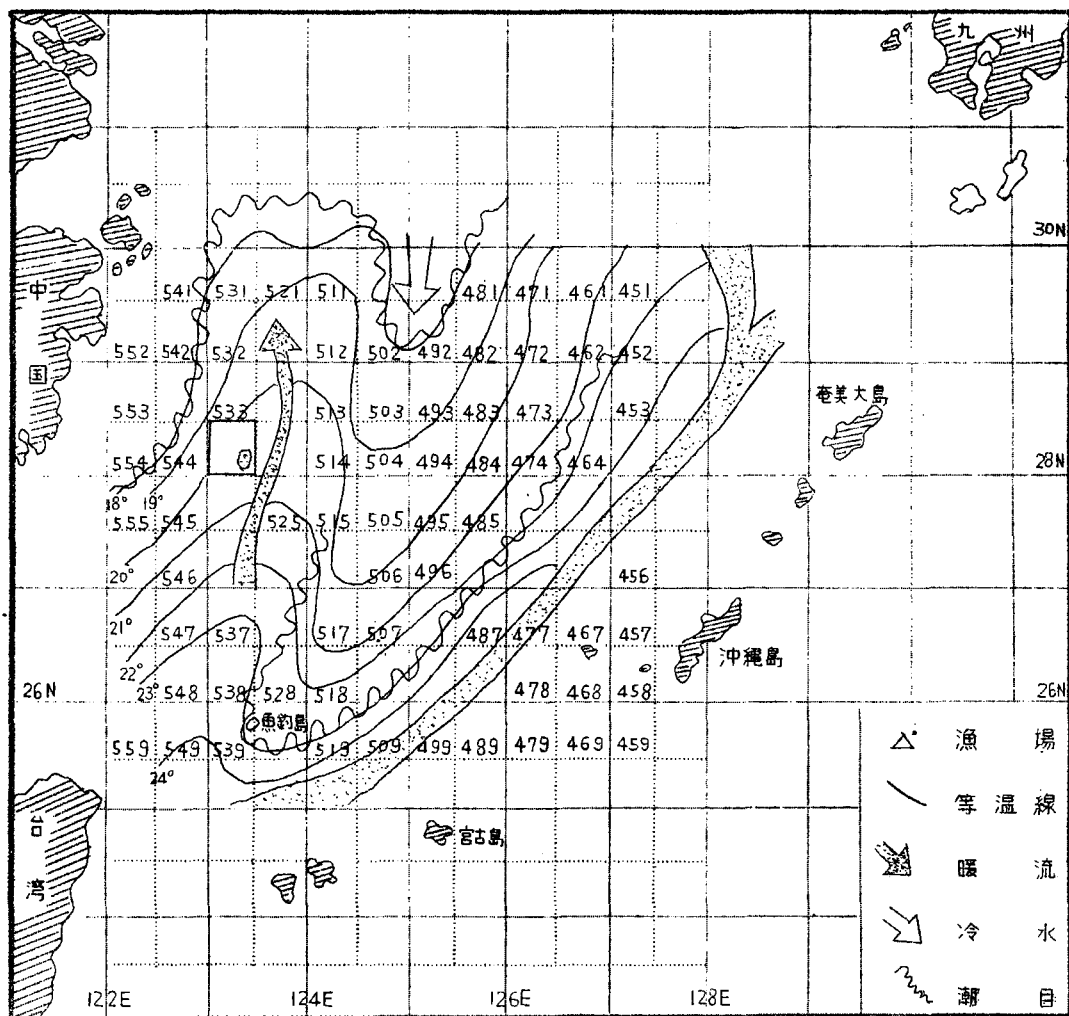
昭和36年12月下旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海では季節風が吹きつり、水温は急に冷たくなった。黄海及び朝鮮九州等の沿岸の水域は平年よりやや低目となったが、東海中部、黒潮流域等広い範囲にわたり1°前後高目になっている。

黄海冷水の動きは次第に活発となり、その中心は山東高角から大陸沿岸沿いに南下し、ソコトウ方面へ向っており、海況は冬型の配置になった。又山東高角東方に着しい潮目が発達し、この周りの漁場の海況も着しく好転した。今旬はゆるやかに冷え込む程度で大きな変化はなく、大体平年よりいくらか暖か目が続く見込み。



附図 I~7

東海さば漁況及海況

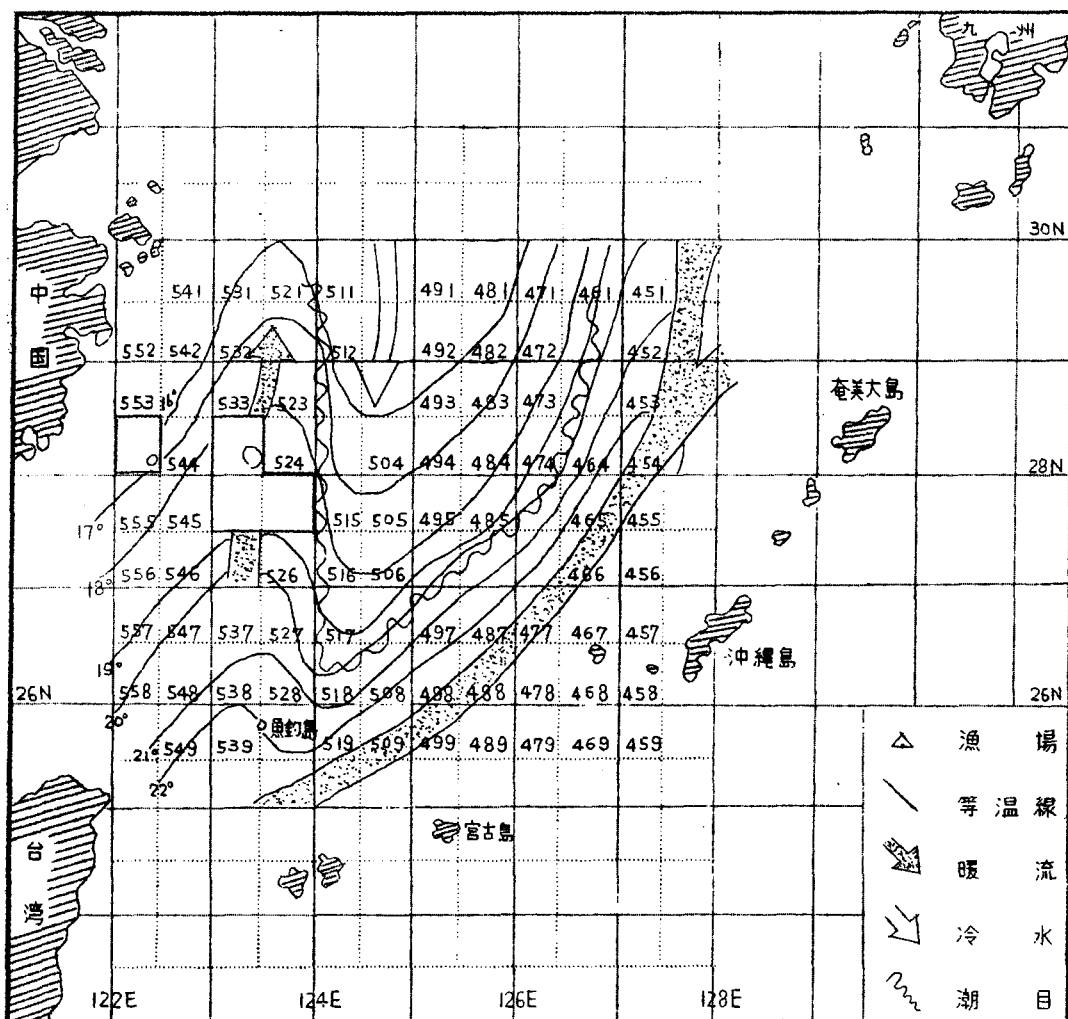
昭和37年1月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海の海況は冬型になって水温も次第に低くなってきた。中でも南西諸島及び薩南海域等の黒潮流域は平年よりも1°~2°程冷たい。しかし東海中部、大陸沿岸は1°前後暖かい。又黄海北部漁場の水温は6°~8°で平年よりも低目で又渤海方面より南下する低かん水(潮の甘い水)の勢が弱く、例年のような著しい潮目の発生は少ない。

今後旬末には再び季節風が発達する見込みで、水温は更にさがり、海況の変動もはげしくなって潮目の発生は多くなるでしょう。



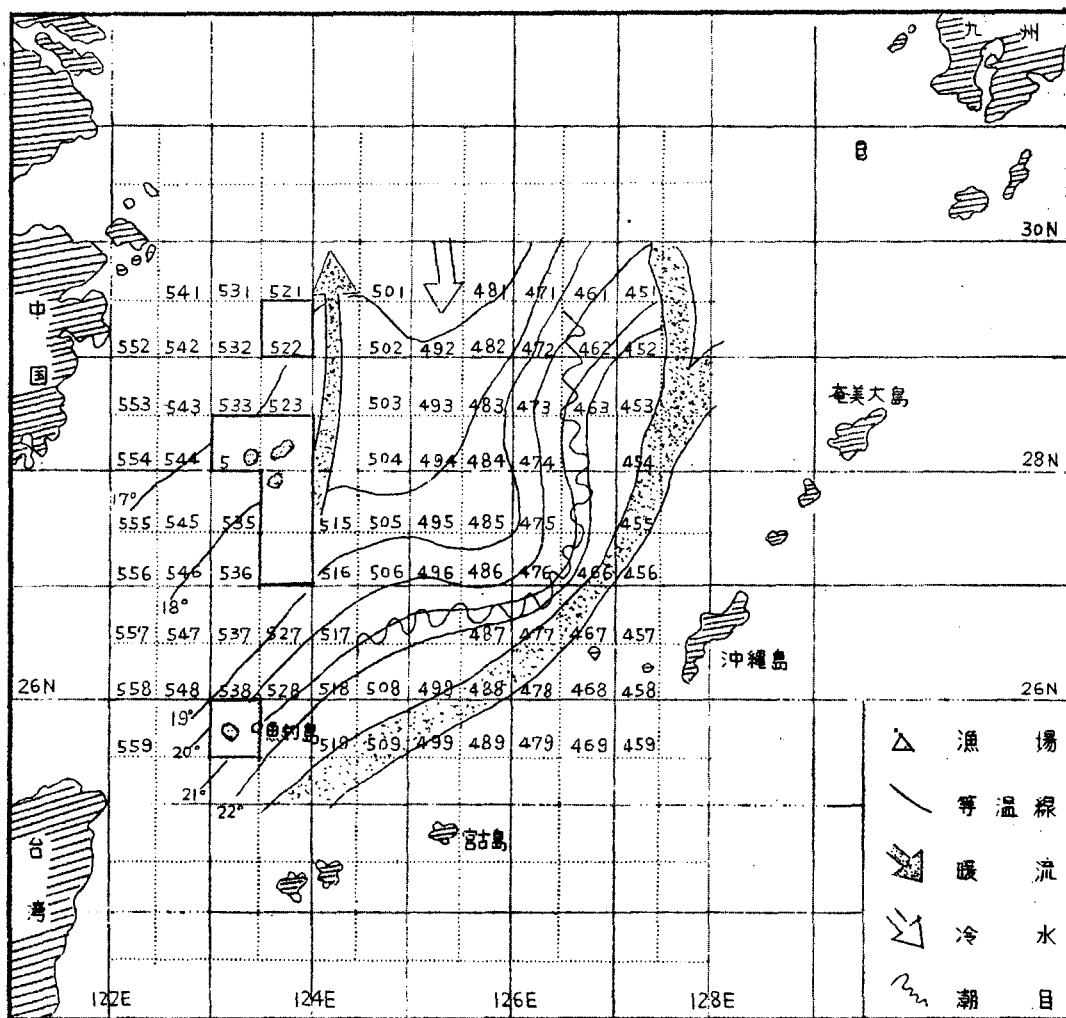
東海さば漁況及海況

昭和37年1月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海の水温は全体にゆるやかな冷え込みが続いている。南西諸島付近の黒潮流域や九州近海、清州島付近は1°前後冷たい。しかし東海の中中部一帯は黒潮の流れが強く、広い範囲にわたって平年より2°~3°も暖かい所が多い。このところ水系の配置には大きい変動もなく、黄海冷水の南下の勢はまだ弱いので、黄海付近は著しい潮目の発生も少ない。今後旬末には次第に黄海冷水が南下し、水温は全域にわたりかなりさがる見込み。



附圖I～9

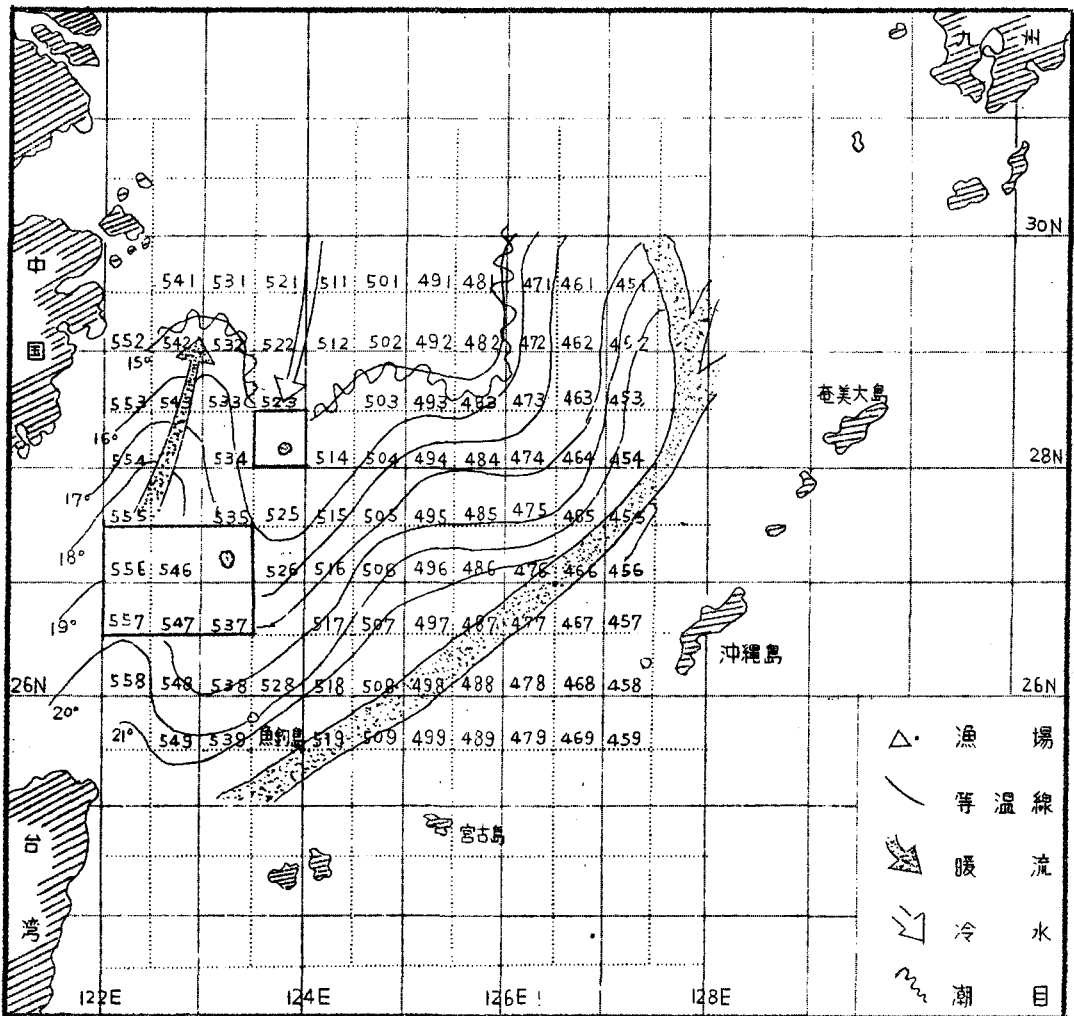
東海さば漁況及海況

昭和37年1月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海方面では季節風が吹き続き気温も昨年より低い、しかし東海の中部及黄海付近の水温は平年よりやや高目が続いている。一方黒潮流域ではさらに冷え込み、平年よりも $1^{\circ}\sim 2^{\circ}$ 程低目になった。大陸棚周辺には黄海冷水の前線がはり出し、魚釣島付近には潮目が発生し、又黄海中部の漁場でも急に冷え込み、多くの潮目が発生している。今後も旬始めは少しおだやかとなるが、半頃になると季節風が発生するので水温もさらにさがるとは、着しい潮目の発生は少ない。



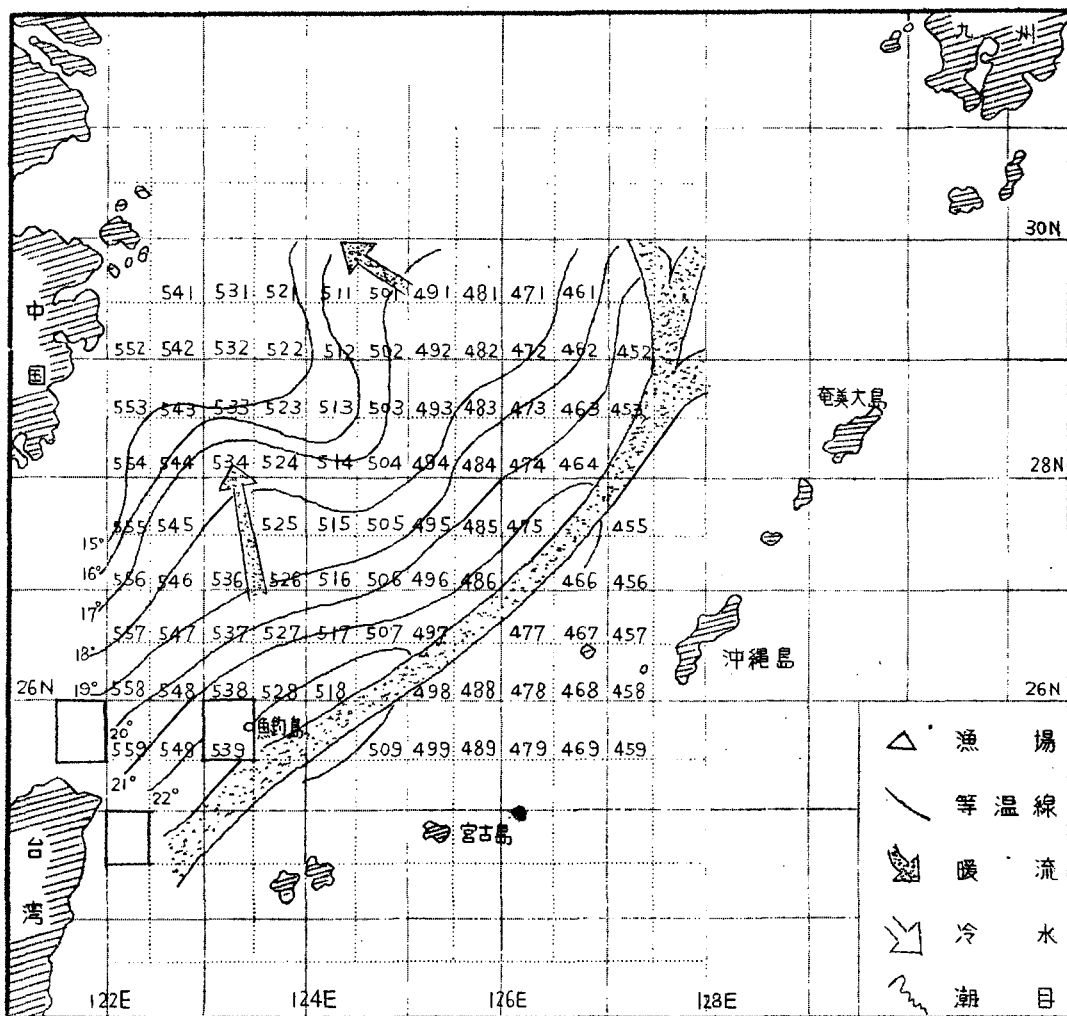
東海さば漁況及海況

昭和37年2月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海の水温は低気圧の通過や前線のていたい等の影響で全般にわたって、平年より暖かい、中でも東海の中中部は3°~4°も高く、南西諸島、薩南海域の沿岸水温も1°前後高くなっている。東海の北部及び黄海付近の漁場では黄海暖流の勢力が増し、黄海冷水のはり出しが弱くなっている。このため潮目の発生も少なくなった。また村島及び済州島近海には朝鮮沿岸水がはり出し、着しい潮目が発生している。今後は北奇りの季節風の発達と共に水温もさがり、海況は次第に回復する見込み。



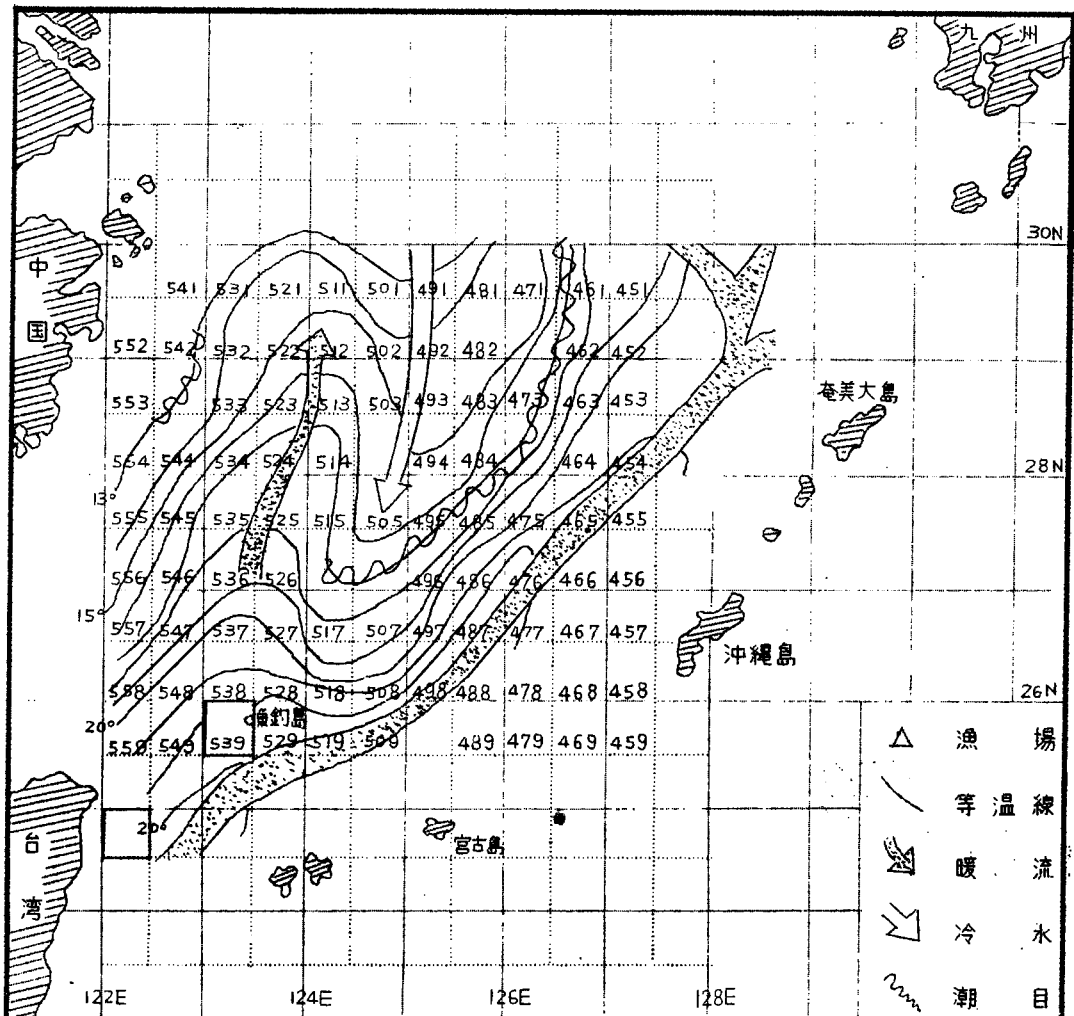
東海さば漁況及海況

昭和37年2月中旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海の水溫は冬期の最低に近ずき変化もゆるやかになった。すでに台湾、沖縄等東海の中部では先旬より暖かくなって、上昇に向うきざしが見えてきた。冬期に大陸棚一帯に向ってはりだす黄海冷水の勢力が弱いため、昨年に比べると東海中部、九州西部等は $2^{\circ}\sim 3^{\circ}$ も暖かい、しかし黄海及び台湾附近の黒潮流域は $1^{\circ}\sim 2^{\circ}$ 程冷たい、今後もまだこの状態がつづく見込みで、特に九州沿岸付近の水溫は高くなる見込み。



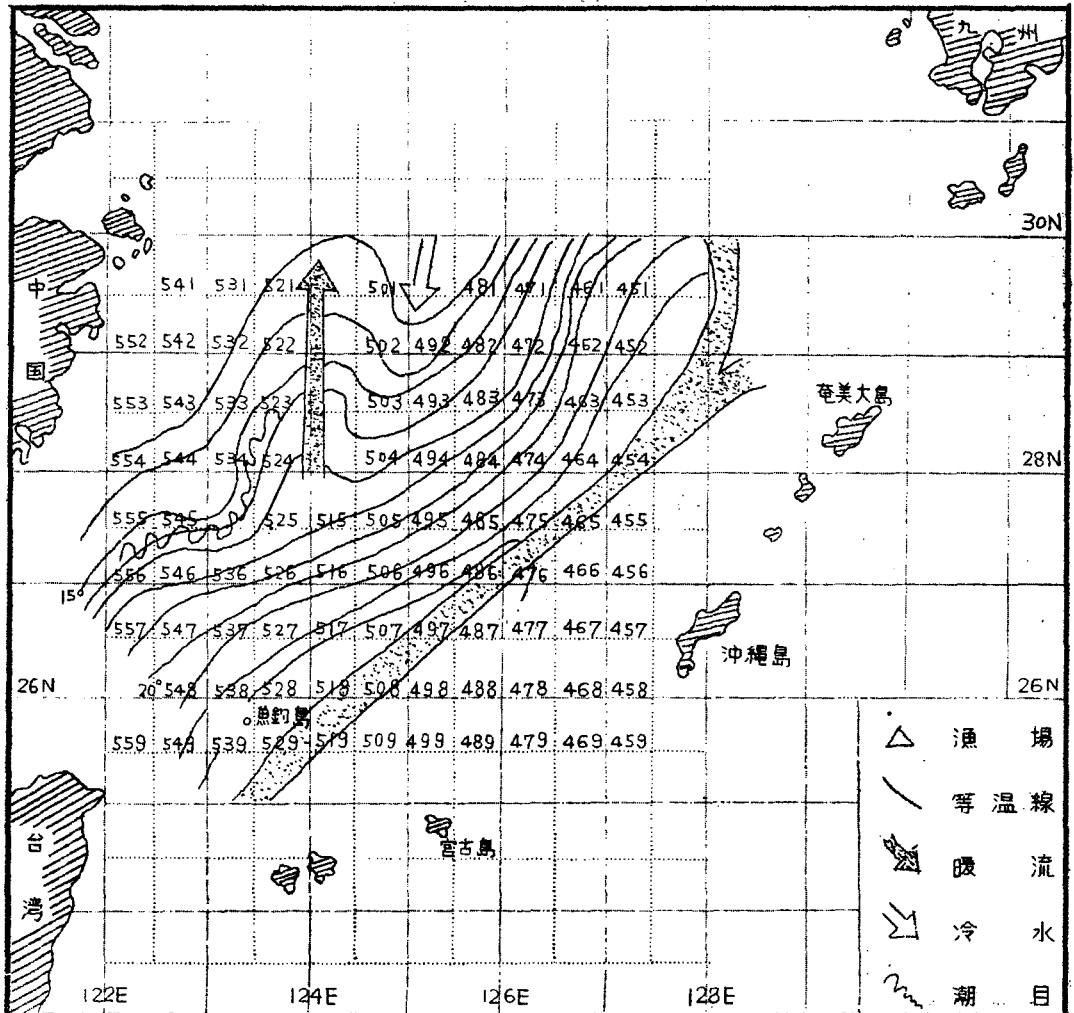
東海さば漁況及海況

昭和37年2月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海の中部以北と黄海方面の水温は先旬にくらべて1°~2°程低くなった。しかし、南西諸島の近海や薩南海域等は次第に暖かくなってきた。全般には平年より暖かめが続いている。また黄海の漁場は黄海冷水の勢力が弱く、潮目の発達も少ないようである。一方朝鮮の西岸及び南岸には沿岸水が発達し、済州島の東方海域には潮目がある。まだしばらくは季節風が吹くので、北部では水温がさがり平年に近くなるが、南部海域は次第に暖かくなろう。



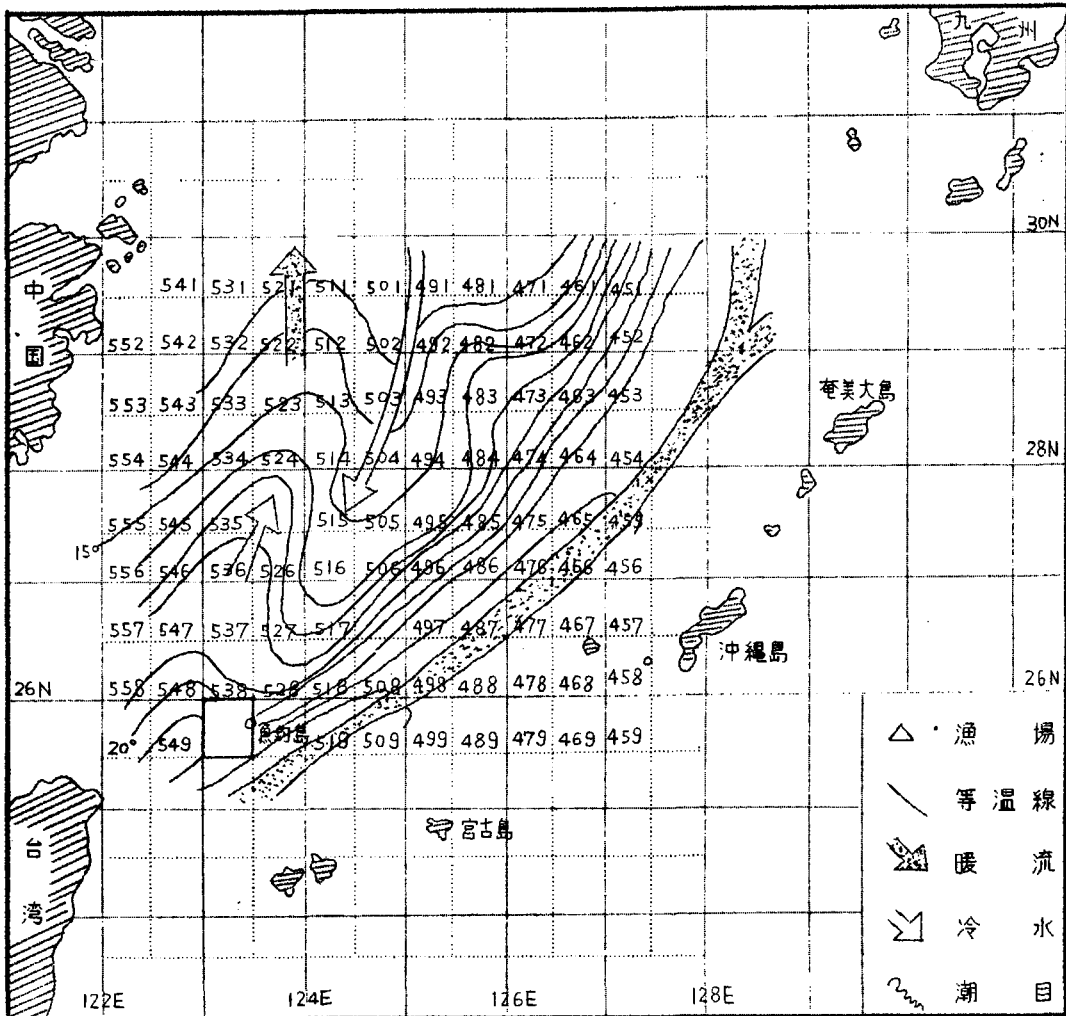
東海さば漁況及海況

昭和37年3月上旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海は全域にわたって黒潮流の勢力が強くなりこれに比べて黄海冷水の勢は弱い、しかし水温は前旬より九州近海で0.5°~1°程暖かくなった他は、殆んどの海域が低くなっている。したがって平年より低目の所が多い。又黄海漁場でも黒潮の影響で黄海冷水の動が少くなり潮目の発生も少ない。今後は水温の上昇に伴い水系の移動が次第に活発となり又沿岸でも水温が上昇しよう。



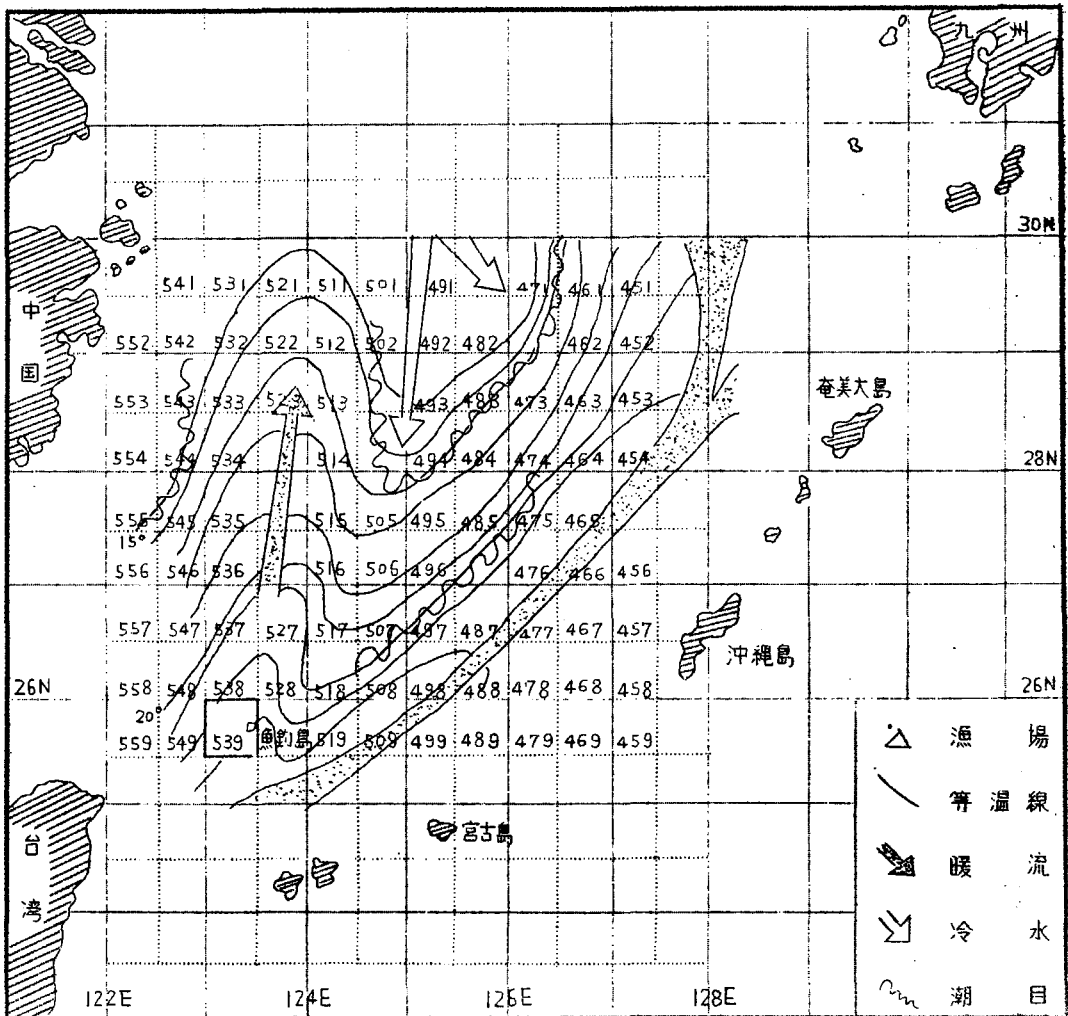
東海さば漁況及海況

昭和37年3月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海の水温はようやく上昇に向い、先月よりいくらか暖かくなった所が多い。また東海中部あたりは冷水のほりだしが少いため昨年よりも暖かい、しかし黄海方面の冷水域は平年よりも冷たくなっている。まだ当分の間黄海冷水の中心は黒潮系の暖かい水の勢力に押されこのため黄海の一部に止り変化も少なく、水温は平年よりも低目がつづこう、然し沿岸附近の水温は急に暖くなる見込み。



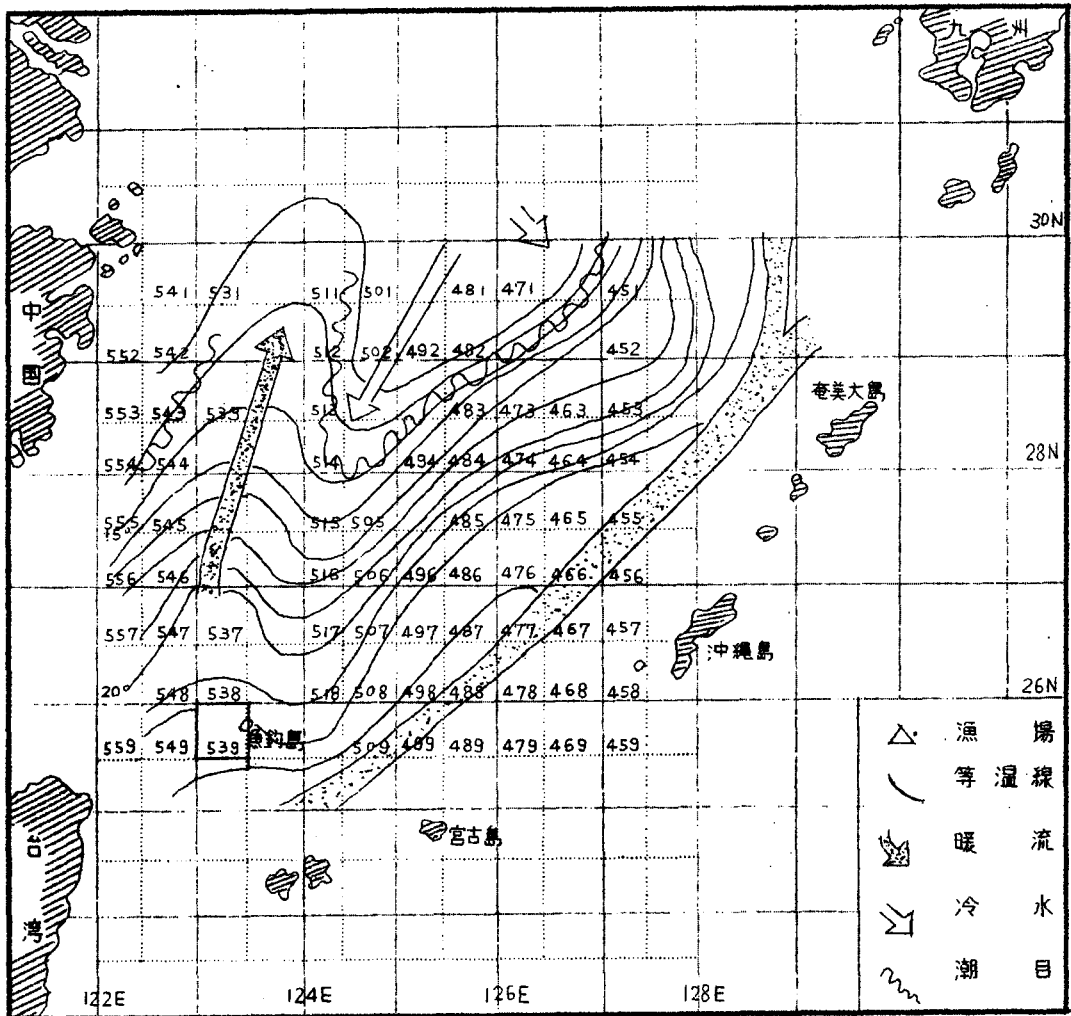
東海さば漁況及海況

昭和37年3月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海と黄海方面では水の動きがゆるやかとなり、季節的な海況変化が遅れている。このため水温は全体に平年よりも低い。又黄海の北部では黄海冷水の勢力が強いので、この辺は塩分が高く、又涵沓が暖かく、上層水との混合状態が悪くなっている。又薩南九州沿岸でも水温は低く変化も少ない。まだ当分の間ぐすつた状況が続き大きな変化はない見込み。



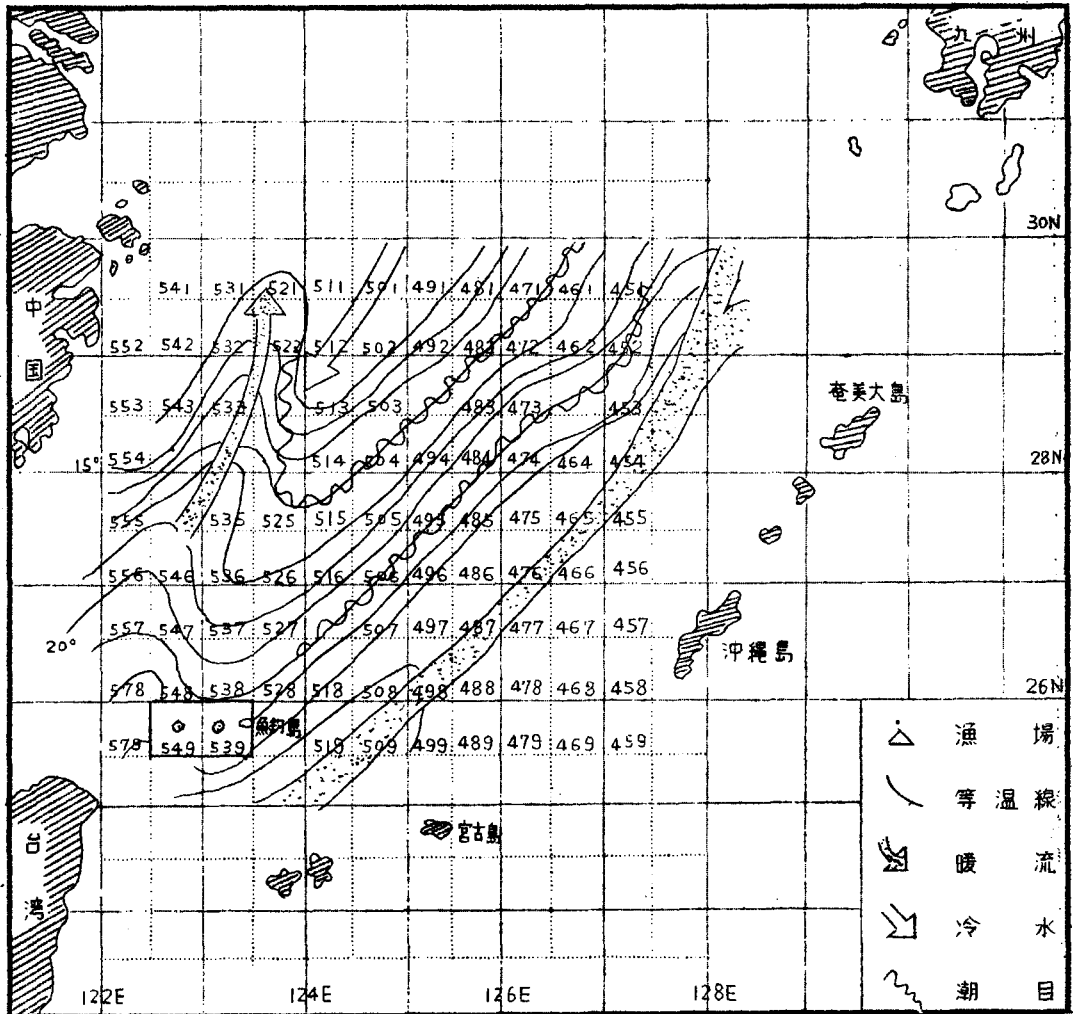
東海さば漁況及海況

昭和37年4月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海方面はゆるやかな上昇が続いているが、全般には平年よりも $1^{\circ} \sim 2^{\circ}$ 低い所が多い、大陸沿岸には沿岸水が発達し、このため水温はかなり低い、又大陸棚を始め黒潮流域でも上層水と下層水との混合がはげしいので深い所の水温も低い、しかし黄海の漁場では暖流の勢力が次第に強まっているので、水温も高くなり昨年並に近づいた。今後まだ水温は低目が続き海況の変化も平年より遅れる見込み。



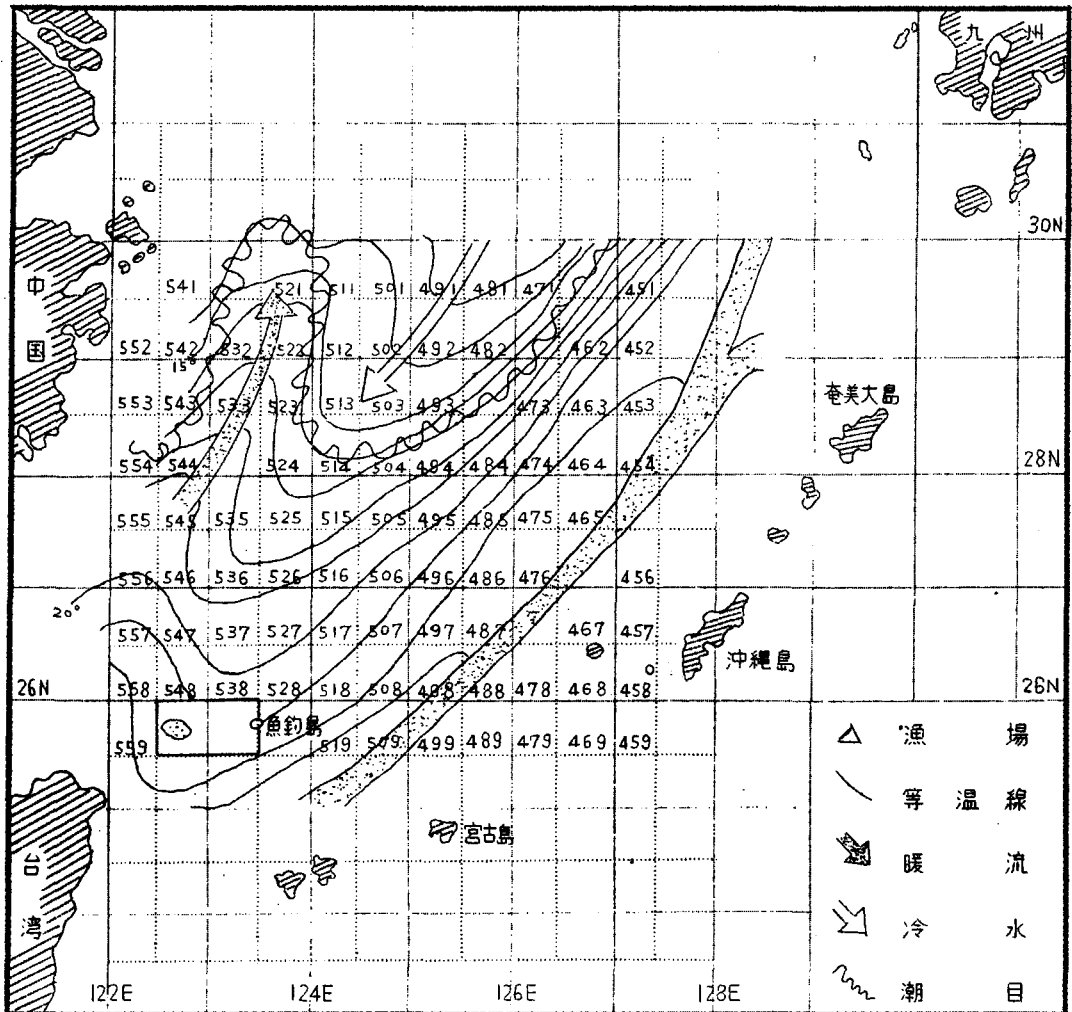
東海さば漁況及海況

昭和37年4月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及黄海では水温の上昇がゆるやかなため平年より冷たい所が多い。中でも台湾から南西諸島、薩南附近の黒潮流域は平年より 1° 以上低く又揚子江の沖合及びソコトラ、クチミノセ等の漁場でもそれぞれ $2^{\circ}\sim 3^{\circ}$ 低目が続いている。しかし、五島、対馬近海は平年並となっている。今後まだ当分の間水温は平年よりも低目が続き、中でも大陸棚の周辺や沿岸、入海等は特に低目が続きますよう。



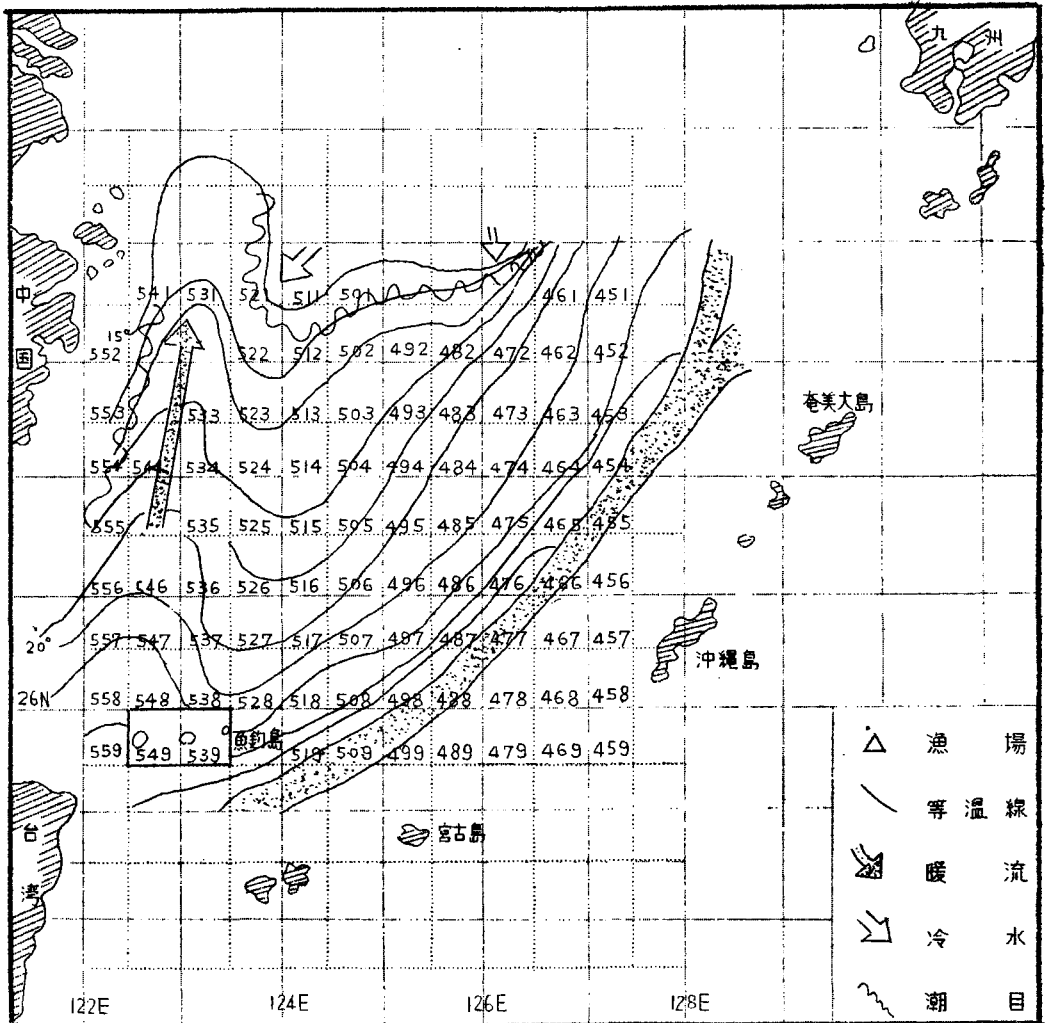
東海さば漁況及海況

昭和37年4月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及黄海の水溫はゆるやかに上昇しているが、水の動きは少なく、海況の季節変化が遅れているので、水溫は2°~3°低い所が多い。中でもソコトラ、カキノセ附近や魚釣島近海の水溫が低い、しかし大陸沿岸附近は1度程度暖かい、今後水溫は南西諸島や薩南の黒潮流及び黄海方面は平年より稍低目が続き九州の沿岸では平年に近づく見込み。



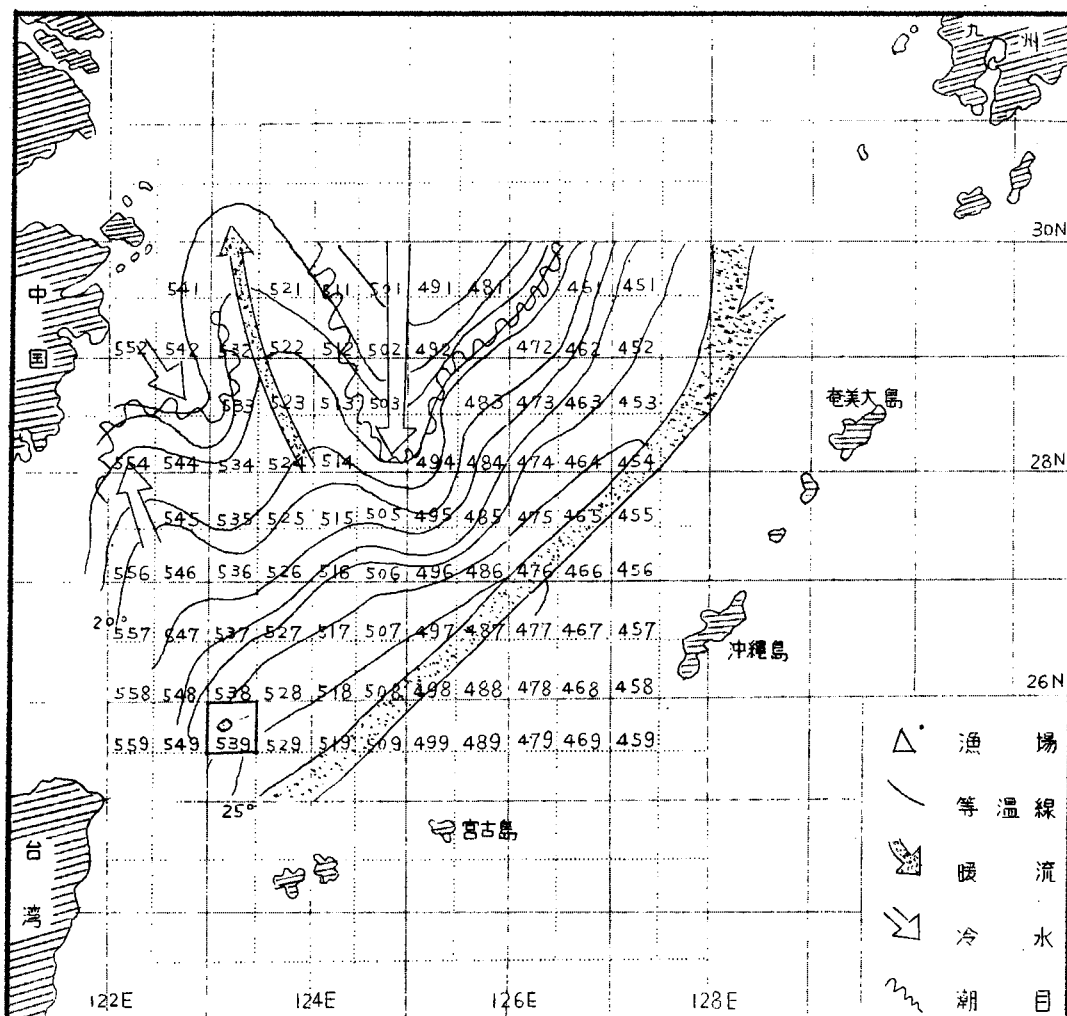
東海さば漁況及海況

昭和37年5月上旬

海洋の概況

長崎海洋气象台

東シナ海及び黄海方面では海況の変動が平年より1旬あまり遅れているので水温が低い中でも東シナ海の中中部及びソコトラ、カキノセ附近は平年より2°も低い。然し魚釣島近海、沖縄、薩南、九州近海の黒潮域は急に暖かくなってきたので、昨年水温に近くなった又台湾北方の漁場に向って、大陸沿岸水がはりだし、この附近には潮目が多くなった。今後も黒潮域は水の動きがはげしくなって水温も次第に高くなるが、大陸棚方面はまだ低目が続く見込み。



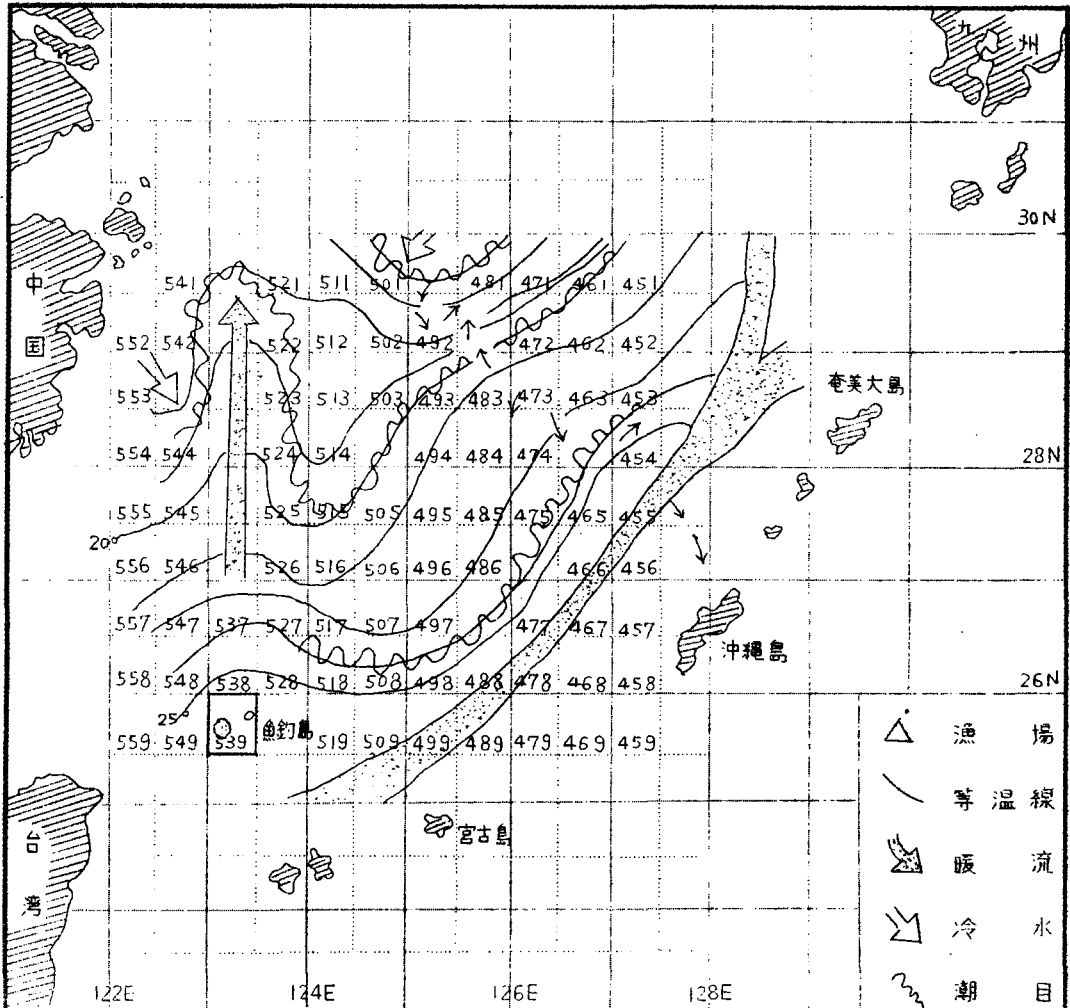
東海さば漁況及海況

昭和37年5月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海の水温は次第に高くなってきた。しかし全体にわたって海況の季節変化が遅れているために、平年より低い所が多い。中でも九州近海や沖縄付近の水温が低い。中国大陸の沿岸水は次第に強くなっているが、その影響はバーレン南方の28°N付近におよんでいる。今後南西諸島近海の黒潮域では水の動きがはげしく、水温も上昇している。九州近海は近く平年並に回復するが、東海中部黄海方面はまだ低目が続く見込み。



附圖I~21

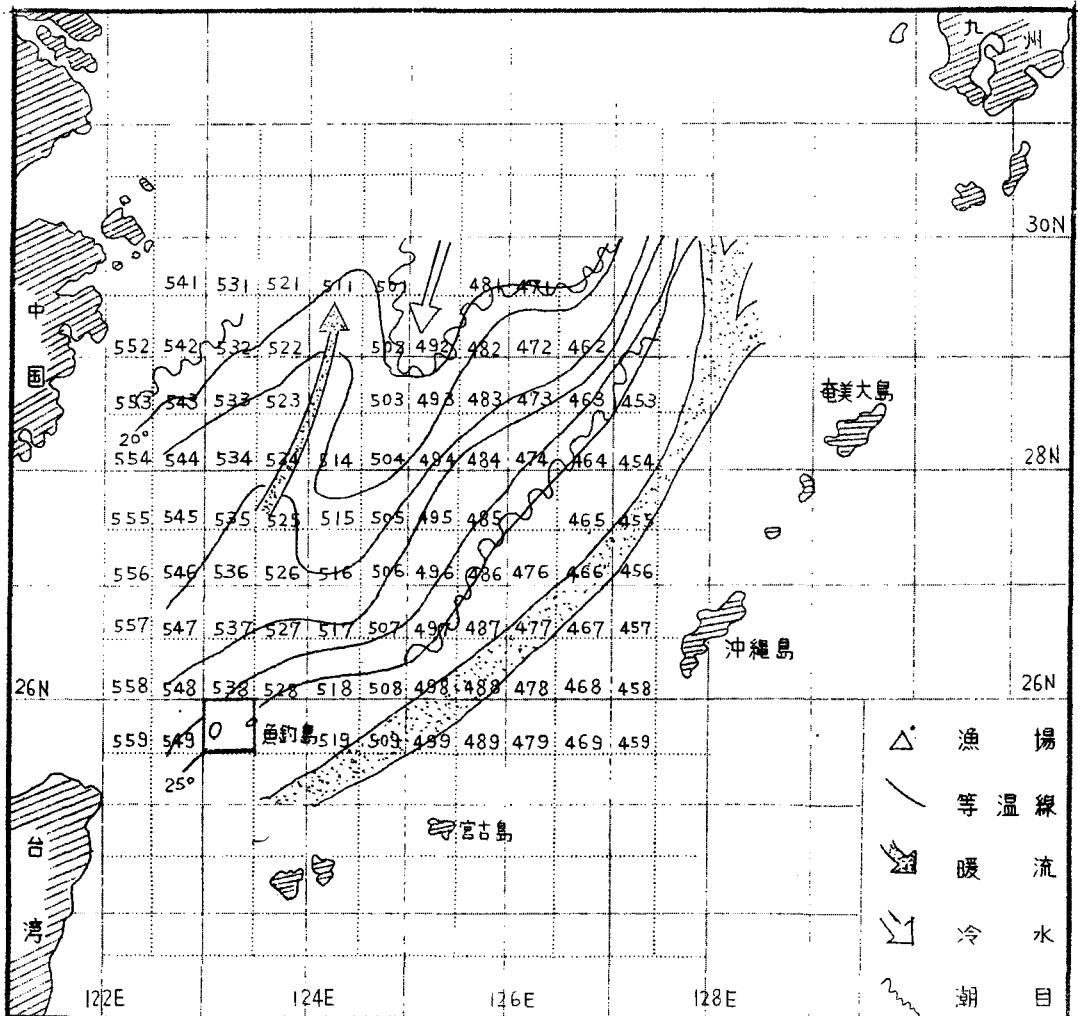
東海さば漁況及海況

昭和37年5月下旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海及び黄海では海況の変動が遅れているので、平年より冷たい所が多い、南西諸島、産南、五島、対島近海は前年より 1° たらずの上昇にとどまった。しかし今旬は大陸の沿岸水域や黄海南部ソコトラ附近の水温が急に上昇した。今後も大陸棚全域にわたる黄海冷水域の水温は引つづいて大巾に上昇するが、黒潮対島流など九州近海は 1° たらずの上昇で平年より冷たい見込み。



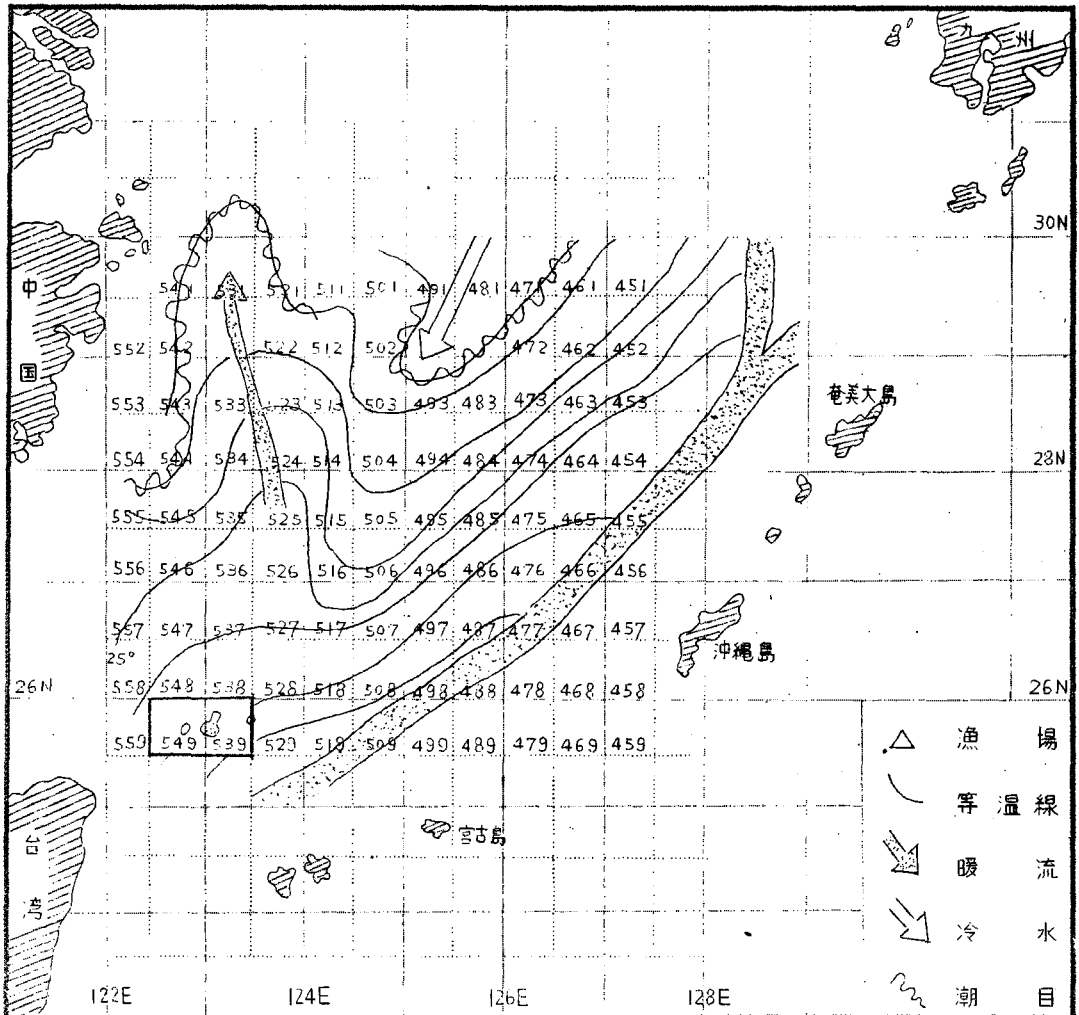
東海さば漁況及海況

昭和37年6月上旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

東シナ海の中中部及び黄海付近は水温の上昇が先旬から目立って大きくなり、ソコトラ、カキノセ、フチミノセ辺りの漁場水温は平年よりも高くなった。一方南方の黒潮及び奄南五島、村州など九州の近海では、水温はゆるやかに上昇しているので、まだ平年よりも低目が続いている。又揚子江沖合及黄海方面は大陸の河川排水が少なく沿岸水の勢力は昨年より弱い、今後も東海北部及び黄海は平年より高目、黒潮流域では低目が続く見込み。



東海さば漁況及海況

昭和37年6月中旬

海洋の概況

長崎海洋気象台

黄海及び東シナ海の水温は平年より低目の所が多い。中でも黒潮と対島暖流域の海況の季節変化は一月余りも遅れている。又黄海冷水の中軸がソコトラよりやや北方にあるので大陸棚一帯は黄海暖流の影響が少なくなっている。一方大陸沿岸付近の海面は暖かくて、塩分の低い水が増し、揚子江沖合から済州島方面に広がっている。今後も水温は平年より低目が続きソコトラ方面には大陸からの排水が次第に増える見込み。

